

【まとめ】

調査結果から、訪問看護ステーションの管理者は、経営に対する意識があまり高くない様子があり、事業所の経営に対する意識付けが必要である。経営実態調査報告書の概要版を、新規開設を含む県内訪問看護ステーション 235 事業所に配布するとともに、調査に協力した事業所には、個別簡易診断票を配布した。さらに、経営実態調査結果から得られた県内訪問看護ステーションの経営指標（四分位データ）を取り込み、千葉県看護協会版訪問看護ソフトの経営分析画面と訪問看護実践センターシステムの経営診断シミュレーションシステムが完成した。今後は、県内訪問看護ステーションの管理者が自事業所の経営状況を把握し、評価するツールのひとつとして経営診断シミュレーションシステムの活用を広報していく。

(4) 訪問看護に関する調査研究

訪問看護師育成フォーラムの開催

項目	内容
目的	在宅医療の中核を担う質の高い訪問看護を、安定的に供給するために、実施している訪問看護実践センター事業の人材育成において訪問看護師を志望する看護学生等を確保するために、看護師等学校養成所の教員や看護学生に、訪問看護師の仕事について理解を深めてもらうことを目的にフォーラムを開催する。
開催日時	平成 25 年 11 月 30 日（土） 13：30～17：00
会場	千葉県看護会館 2 階大研修室
内容	<p>【テーマ】訪問看護の魅力を伝えます</p> <p>【基調講演】</p> <p>「魅力ある訪問看護を一緒に！」～忘れてはいけない新卒時代の経験～ 在宅看護研究センターLLP 代表 村松 静子</p> <p>【実践報告・意見交換】</p> <p>「私たちは訪問看護師として頑張っています」</p> <p>前原ハート・訪問看護ステーション 新卒訪問看護師 廣田 桂子 さつき台訪問看護ステーション 訪問看護師 中原 桜子 看護協会ちば訪問看護ステーション 新卒訪問看護師 田中 智美 千葉県訪問看護ステーション連絡協議会 会長 権平くみ子 公益社団法人千葉県看護協会 会長 松永 敏子</p>
参加者	100 名（看護学生 22 名、看護学校教員 19 名、訪問看護師 42 名、その他 9 名、事務局 8 名）

【参加者アンケート結果】

- ・参加した訪問看護師 42 名のうち 31 名から回答があり、14 名は「このような支援があれば、新卒看護師の育成はできる」と回答し、22 名は「新卒看護師以外にもプログラムに基づいた訪問看護の基礎的知識を習得させたい」と回答している。訪問看護師は当該プログラムに対して、新卒者以外の看護師の育成にも期待が大きい。
- ・参加した教員 19 名のうち 16 名から回答があり、10 名は「このような支援があれば、学生の訪問看護ステーションへの就職は可能である」と回答している。
- ・参加した看護学生 22 名のうち 20 名から回答があり、7 名が「このような支援があれば、卒業すぐにステーションに就職したい」と回答し、8 名は「支援があっても教育体制が整備されていないと不安」と教育体制の整備を求めており、8 名が「卒業まずは病院で働きたい」と回答している。

教員・学生は当該プログラムに対する期待は大きいですが、反面訪問看護ステーションの教育体制等への不安は大きいことがアンケートから読み取れた。

訪問看護師 (n=31) 複数回答	このような支援があれば、新卒Nsの育成はできる	14
	支援があっても教育体制が整えられないので新卒Nsの育成は難しい	5
	支援があっても経営的に新卒Nsの育成は難しい	7
	新卒Ns以外のNsもプログラムに基づいた訪看Nsの基礎的な知識を修得させたい	22
教員 (n=16) 複数回答	このような支援があれば、学生の訪看Stへの就職は可能である	10
	支援があってもStの教育体制が整備されていないと難しい	6
	支援があっても知識・技術・態度面で訪看Stへの就職は難しい	2
	学生の訪看Stへの就職希望はある	3
看護学生 (n=20) 複数回答	このような支援があれば、卒後すぐにStに就職したい	7
	支援があっても教育体制が整備されていないと不安	8
	支援があっても給料が安いと訪看Stへの就職は考えない	1
	卒後、まずは病院で働きたい	8

【まとめ】

育成フォーラム開催について、県内外の看護学校・大学への通知の他、多くの看護職が集まる在宅関連の学会や訪問看護サミット（日本訪問看護財団）会場において、チラシ配布等を行い、広報することができた。その結果、今年は昨年より倍の人数の参加があった。昨年に比べ多くの看護学生が参加したのは、訪問看護師人材育成事業に関する特集が雑誌に掲載されたことや、育成プログラムに関するリーフレットの配布等で、新卒看護師の育成事業が周知され、興味・関心をもったこと、訪問看護の現場で著名な村松氏を講師で招くことができたことが参加者増の結果につながったと考えられる。

しかし、学生・教員の参加状況は、看護大学生15名の内、県外10名・県内5名と県内の学生の参加が少なく、大学教員は参加者3名の内、県内は1名のみであった。対象とした学生・教員の参加者は約4割(41名)であったが、県内の多くの学校の参加を得るには至っていない。

(1校で複数の参加あり)

今後も「卒後は病院に就職をする」という看護学生・教員の意識を変えられるように、また、県内の看護大学生・看護大学の教員が多く参加するように、看護大学への個別訪問等を行い広報の方法を考えていく必要がある。

IV 県民の健康・福祉の増進に関する事業

「看護の日」「看護週間」事業

第23回県民が集う「看護の日」

1. 目的：

県民が集う「看護の日」として、県民一人ひとりが看護についての関心と理解を深めると共に、県民とともにあゆむ信頼される看護のイメージづくりを図り、健康で安心して暮らせる社会づくりの実現に寄与する。

2. テーマ：「こころを癒し支える看護」

3. 開催日及び会場

(1)日 時：平成25年5月12日(日) 12：00～16：30

(2)会 場：中央行事 メイン会場：アパホテル&リゾート<東京ベイ幕張>

サブ会場：プレナ幕張

地区部会行事 県内11ヶ所

4. 内容及び参加人数

(1)中央行事

○開会式 主催者挨拶

千葉県看護功労者知事表彰式（表彰者23名）

看護体験記 入賞作品表彰式

<看護を体験して>

優秀賞 千葉県立東金高等学校

山崎 十和子

佳 作 千葉県立東金高等学校

大矢 美咲

佳 作 千葉県立東金高等学校

山本 彩加

<看護師への道>

優秀賞 千葉県がんセンター

猿山 京子

佳 作 成田赤十字看護専門学校

小倉 直子

佳 作 成田赤十字看護専門学校

志賀 友香

<看護師として>

優秀賞 木更津看護学院看護師2年課程（通信制）

岡澤 ひとみ

佳 作 独立行政法人国立がん研究センター東病院

能勢 志織

佳 作 東邦大学医療センター佐倉病院

黒川 朋子

<看護を受けた方からのメッセージ>

優秀賞 千葉市

渡邊 慎介

○看護体験記 発表（優秀賞4名）

○特別講演「ストレス社会を笑顔で生きる ～こころと体を解き放そう～」

講師：女優 音無美紀子氏

<参加者>

486名(内訳 一般 264名、表彰者・来賓等関係者222名)

*一般264名のうち看護学生144名を除き、その他看護体験記表彰者8名を加えると、実質一般参加者は128名で、全体の26%

- ・こころの相談コーナー
相談員：日本精神科看護技術協会 2名
- ・訪問看護の紹介
在宅看護体験、DVDによる訪問看護師の仕事紹介、訪問看護専用ブースでの質問対応等 119名
- ・保健師職能委員
血圧測定・心臓の音を聞く体験、血圧測定、体脂肪測定、保健師の活動紹介、こころの健康相談、進路相談、うつ自己チェック指導等 286名
- ・ふれあい看護体験申込 1名
- ・国際助産師の日
マタニティ・人形を使った沐浴体験、DVDによる活動紹介、育児便利グッズ・災害グッズ展示、進路相談、育児相談 97名
延べ人数：991名

(2)地区部会行事

- 訪問看護の紹介ほか「まちの保健室」
参加者：6,494名(延人数)

5. まとめ

- ・看護の日事業については、地区部会と協働し、多くの県民の直接的な参加を得ているが、中央会場での県民参加率が26パーセントと低く、県民への看護の心の普及効果としては課題が残ったため、来年度は県民の利用頻度が高い千葉市内の公民館・図書館等にもポスターやチラシを掲示していただき、更なる県民への普及啓発を図っていきたい。
- ・今年度は、看護学校からの申し出により、看護学生が協力員として参加し、学生から助産師の専門的な分野に関心が深まった、看護の専門性や役割を考えるきっかけとなったとの意見が聞かれるなど、学生にとって有意義な機会であった。
- ・こころの健康教育での「うつの自己チェック」は、138名という多くの方に実施していただき、参加した県民が、自身の状況を確認する機会とすることが出来た。
また、女優の音無美紀子さんによる、自身のうつ体験を語った講演からは、泣きたかったら思い切り泣いてストレスを発散してほしい等、参加者に対し強いメッセージと感動が送られたと考える。
- ・在宅看護体験（体位変換等）は参加者に好評であり、今後このような企画をするのであれば、プラスアルファの体験や指導を追加することで更に効果が上がると考える。また、訪問看護ステーションのポスター展示は、より多くのステーションに参加していただき其々の独自性まで発信できれば、具体性を持って県民に訴えることができたと考える。

「まちの保健室」事業

常設型「まちの保健室」実施状況（千葉三越）

1. 目的

県民に対し看護を身近に感じていただける場の提供を図り、看護への関心と理解を高めてもらうと同時に、自己の健康への意識が高まるよう働きかける。

2. 事業内容

(1)開催日：隔月第3土曜日 14：00～16：00

(2)場 所：千葉三越8階 特別室

(3)内 容：①ミニ講話

②相談

3. 実施状況

月日	テーマ	講師			講話	相談
5/18	鳥インフルエンザの動向と対策・食中毒対策について	社会保険 船橋中央病院	感染管理認定 看護師	後関 義之	8	4
7/20	救急時の対応について～季節ごとに起こりやすい健康被害への応急対応とは～	千葉県救急 医療センター	救急看護認定 看護師	箱崎 恵理	5	2
9/21	転ばぬ先の知恵	(一社)千葉県 理学療法士会	理学療法士 了徳寺大学 准教授	宮島 恵樹	6	1
11/16	認知症を知り、予防について考えましょう	デイサービス なごみの家	所長 認知症看護 認定看護師	西 ケイ子	14	2
1/18	食事中にむせたりしませんか？高齢者の摂食・嚥下リハビリテーション～美味しく、安全に召し上がっていただくために～	社会保険 船橋中央病院	摂食・嚥下 障害看護 認定看護師	大角 仁美	10	1
3/15	シニア世代からのスキンケア～かゆみなく、健康な皮膚を保つために～	千葉社会保険 病院	皮膚・ 排泄ケア看護 認定看護師	黒巢美津枝	9	0
	合 計				52	10

4. その他看護協会主催（イベント型）実施状況

月日	内容	相談員数	延人数
7/15	千葉三越「夏の美と健康フェア」	2	109
8/29	千葉三越「快適寝具と健康フェア」	3	84

7/15の千葉三越「夏の美と健康フェア」は、「たばこ対策事業」学校外活動も兼ねて実施

5. まとめ

- ・三越のミニ講話は、認定看護師や関係機関専門職（理学療法士）を講師として実施し、参加者からはわかりやすかったとの好評を得た。しかし、昨年と比較しても集客数の増加はみられなかったため、来年度は、集客数の多いイベント型を中心に展開する等、千葉三越と協議の上で開催方法を見直していくこととしたい。
- ・千葉三越のイベント型まちの保健室「夏の美と健康フェア」は、たばこの健康教育と併せて実施したことや、1階のエレベーター前という人の多い場所で実施したこと等により、多数の参加者が得られた。

平成25年度 常設型「まちの保健室」実施状況（地区部会）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

地区	血压測定		体脂肪測定		身体測定		禁煙相談		更年期相談		思春期子育て支援		その他		件数(延人数)		件数(延人数)								協力員			
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	~29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳代	80歳以上		不明	計(美数)	
千葉	49	35	28	17	0	0	0	0	0	0	0	0	0	31	7	108	59	15	31	24	18	18	6	2	15	129	19	
市原	95	48	85	47	0	0	1	0	1	0	0	0	100	66	282	161	21	26	28	24	58	39	3	0	0	199	15	
船橋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市川	116	118	95	111	0	0	0	1	2	0	0	0	7	2	220	232	5	16	31	35	76	65	12	2	2	242	21	
松戸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
東葛	197	221	200	223	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	397	444	11	18	41	106	348	287	30	0	0	841	37	
印旛	507	152	496	138	0	0	0	0	0	0	0	0	414	62	1,417	352	30	70	103	258	624	289	40	1	1	1,415	49	
利根	131	78	132	78	17	15	0	0	0	0	0	0	194	104	474	275	5	10	19	39	80	55	11	0	0	219	25	
山武	68	20	49	13	3	0	0	0	0	0	0	0	80	21	200	54	2	6	7	11	31	25	9	1	1	92	27	
長夷	115	81	68	33	7	6	0	0	0	0	0	0	6	3	196	123	10	16	29	23	56	61	14	5	5	214	50	
君津	47	28	39	10	29	11	11	4	0	0	1	2	18	36	145	91	14	4	10	13	39	16	11	0	0	107	14	
安房	36	23	24	17	0	0	0	0	0	0	0	0	25	23	85	63	12	11	9	10	24	23	13	0	0	102	14	
合計	1,361	804	1,216	687	56	32	12	5	3	0	1	2	875	324	3,524	1,854	125	208	301	537	1,354	866	145	24	24	3,560	271	

平成25年度 イベント型「まちの保健室」実施状況（地区部会）

平成25年4月1日～平成26年3月31日

地区	行事名	開催日	血圧測定		体脂肪測定		身体測定 (腹囲測定)		禁煙相談		更年期相談		思春期子 育て支援		その他 (健康相談等)		件数		年齢構成							協力員 合計								
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	～29歳	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代		70歳代	80歳代	90歳代	不明				
千葉	市民健康づくり	10月19日	69	144	46										21	3	296	118	15	19	46	30	131	161	12							414	9	
市原	健康まつり	10月20日	101	129	38										75	21	305	94	7	15	19	27	103	39	10							220	10	
船橋	がん予防展	9月14日	119														119	43	12	15	10	12	9	13	2					89	162	3		
	がん予防展	9月15日	180	77													180	77	18	40	59	45	63	21	10					1	257	3		
市川	鎌ヶ谷市福祉健康フェア	10月20日	147	143	144	3	7						1				294	300	13	23	19	24	31	30	5	2						149	5	
	ふなばし健康まつり	11月10日	19	6	17	6									2		38	12	4	4	4	4	4	13								25	5	
市川	健康フェア浦安	10月27日	18	1	18	1											36	2				1	4	11	3							19	5	
松戸	松戸まつり	10月6日	147	52											147	52	294	104	1	5	14	25	60	82	12							199	8	
印旛	成田市健康・福祉まつり	10月20日	35	88	32	75											67	163	4	10	12	21	87	90	6							230	6	
山武	城西大学 学校祭	11月4日	61	41	55	36									318	213	434	290	44	11	12	16	16	10	5	1						115	7	
長夷	がん予防展	2月16日	51	17													51	17	2	3	2	6	40	15								68	3	
	アスモ 桜まつり	3月29日	12	3	8												20	3	1	1	1		6	5	2							1	16	10
君津	君津市健康と 福祉のふれあ いまつり	10月12日	83	34	84	31	97	35							182	47	446	147	5	5	8	14	46	64	24							8	174	24
小計			1104	615	630	377	100	42	0	0	0	0	1	0	745	336	2580	1370	121	151	202	225	600	554	91	3	101	2048				98		
合計			1,719	1,007	1,42	0	0	0	0	0	0	1	1,081	3,950	121	151	202	225	600	554	91	3	101	2,048								98		

自殺予防対策事業

1 心の総合相談窓口

(1) 目的：

本県では、毎年約 1300 人の自殺者が発生しており、その要因は多岐にわたるが、心の病気が自殺と深く関係していると言われている。こうした状況を受け、本協会では平成 22 年度から県の「地域自殺対策緊急強化基金事業」の一環として、看護の専門性を活かしてうつ等の早期発見や早期対応を目的とした「心の総合相談窓口」（専用回線）を開設し、行政や専門機関と連携した自殺防止対策を推進する。

(2) 相談日：月・水・金 13:00～16:00

(3) 相談件数・内容：

①相談件数 年間 557 件（延 456 名）

相談件数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	割合
実数	50	47	41	54	47	33	36	33	24	27	29	35	456	81.9%
リポート	12	18	9	8	8	11	5	7	6	3	6	8	101	18.1%
延数	62	65	50	62	55	44	41	40	30	30	35	43	557	100%

②相談者内訳

ア 性別

性別	合計	割合
女性	322	70.6%
男性	84	18.4%
不明	50	11.0%
合計	456	100%

イ 所属

所属等背景	合計	割合
県民	409	89.7%
看護職	38	8.3%
その他の医療職	1	0.2%
福祉職	3	0.7%
看護学生	0	0.0%
その他の学生	4	0.9%
その他・不明	1	0.2%
合計	456	100%
精神受診者	144	31.6%

ウ 居住地（地区部会名別）

居住地	千葉	市原	船橋	市川	松戸	東葛	印旛	利根	山武	長夷	君津	安房	地区 県内 不明	県外	県内 不明	合計
人数	26	7	30	3	4	10	10	18	7	11	8	11	290	1	20	456

③主な相談内容

相談内容	メンタルヘルス	人間関係	家庭関係	施設・労働条件	能力に関する	准看・進路	その他	身体・健康問題	苦情	合計
人数	198	45	58	24	2	2	50	72	5	456

(4) 相談状況：

相談窓口開設後、相談件数が徐々に増加するなど、カード式広告を県内医療機関や公的機関及び新卒看護職対象の研修等で配布した効果がみられる。

相談は、9割が県民であり、身体・健康問題をはじめ、人間関係や家庭関係等が多い。

今後も、継続してカード式広告の配布を行い、相談窓口の周知及びゲートキーパーとしての役割を果たしていく。

2 研修会の開催（再掲）

（1）「一般外来におけるうつ症状の早期発見と対応のポイント ～ゲートキーパーの役割～」

①目的：

うつについての基本的知識を修得し、一般外来を来院するうつ症状患者への対応や必要な看護について学ぶ

②実施日時：平成25年5月18日（土）・6月1日（土） 9:45～16:30

③参加者：24名（18施設）

④実施内容：

ア 我が国における自殺対策

千葉県健康福祉部健康づくり支援課自殺対策班 班長 高塩 浩一

イ うつの基礎知識と治療、うつ病患者の受診行動など

独立行政法人国立国際医療研究センター国府台病院 精神科医師 草西 俊

ウ 外来看護におけるうつの早期発見と看護の役割

昭和大学病院/昭和大学病院附属東病院 精神看護専門看護師 福宮 智子

エ うつ症状患者との対応（演習含む）

慶應義塾大学病院 精神看護専門看護師 河野 佐代子

（2）「うつ傾向にある患者への関わり方」

①目的：

うつ傾向にある患者とのコミュニケーションが適切に行われるために、患者への関わり方に必要な知識と技術について学ぶ

②実施日時：平成25年12月11日（水）・12日（木） 9:45～16:30

③参加者：106名（59施設）

④実施内容：

ア うつをめぐる現状と課題、うつ病対策支援事業－支援の実際－

千葉県精神保健福祉センター 調査研究課 課長 秋山 実砂

イ うつ病の現状

茂原神経科病院 診療部長兼産業医 吉村 健祐

ウ いのちの電話

（社福）いのちの電話相談 理事 北原 悦子

オ うつ傾向にある患者や家族への関わり

公益財団法人がん研有明病院 精神看護専門看護師 小田島 久美

カ コミュニケーションの知識と技法

昭和大学病院/昭和大学病院附属東病院 精神看護専門看護師 福宮 智子

（3）まとめ

受講生からは、「早期発見、適切な対応方法の必要性が理解でき、実践方法を学ぶことができた」、「もっと早く知り得ていたら、早くケアできたと思うとともに、多くの看護職に学ぶ機会が必要であると感じた」等の意見があった。今後は、多くのゲートキーパーを育成するための研修を企画していきたい。

たばこ対策事業

1. たばこによる健康被害の普及啓発

(1)看護学校における普及啓発の推進

①看護学生による地域住民等への健康教育

ア 目的：今後看護を担う看護学生が、「たばこの健康被害」を再確認し、地域住民等へ禁煙教育を実施する等、役割を担うことで看護職の喫煙率の低減を図る。

イ 内容：講義：「たばこの健康被害」教育

出前授業（三浦講師・齋藤医師）：9校（629名）

教員による講義：7校（153名）

活動：13校（209名）

学校内：9校10イベント

文化祭等学校内行事にて、ポスター展示や測定（肺機能、酸素飽和度、味覚、ニコチン依存度）、実験展示（カイワレ大根等）、パソコンスライド使用の説明等、普及啓発活動が行われた。

学校外：8校10イベント

実習や地域のイベント等学校外での行事にて、寸劇（パフォーマンス）や実験展示（カイワレ大根等）、測定（肺機能、酸素飽和度）、ポスター展示等、普及啓発活動が行われた。

ウ 参加学校：16校

順天堂大学医療看護学部、淑徳大学看護学部看護学科、了徳寺大学健康科学部看護学科、城西国際大学看護学部看護学科、国立病院機構千葉医療センター附属千葉看護学校、千葉県立鶴舞看護専門学校、君津中央病院附属看護学校、成田赤十字看護専門学校、千葉県立野田看護専門学校、東邦大学佐倉看護専門学校、山王看護専門学校、社会保険船橋保健看護専門学校、千葉中央看護専門学校、千葉市立青葉看護専門学校、国保小見川総合病院附属看護専門学校、市原看護専門学校

②看護学生への禁煙支援（千葉大学との共同研究）

ア 目的：禁煙教育を継続する一方で、すでに喫煙している看護学生に対し積極的な禁煙サポートを実施することによって、看護職が喫煙をしない環境をつくり、看護職の喫煙率の低減を図る。

イ 対象：前年度たばこ対策事業に参加した千葉市内の看護師等学校養成所3校をモデル校とし、喫煙する看護学生のうち禁煙支援を希望する者

ウ 内容：（ア）「たばこの健康被害」出前授業

（イ）全看護学生への喫煙状況・意識の調査および禁煙支援の希望調査

（ウ）禁煙サポート：診察、検査、治療（パッチ薬使用）、相談支援等

*千葉大学総合安全衛生管理機構 齋藤佳子医師が学校へ出向き実施した

エ 結果：モデル校3校にて調査した結果、432名中、喫煙者13名、内4名が禁煙支援に参加した。

禁煙に成功したのは3名で、1名は中断したが、今後も再挑戦する意思がある。

(2)新人看護職への普及啓発

対象：看護協会のフレッシュセミナー参加者1,197名

①フレッシュセミナー(春)の受講生にたばこに関する調査の実施

方法：記述式アンケート調査

内容：喫煙率・喫煙の時期と背景・たばこの健康被害の教育を受けた時期・禁煙の意思・支援体制等

結果：ア 回収率：99.9%(1,196名・うちH22～24年本事業へ参加の看護学校17校の卒業生395名)

イ 喫煙率：11.5%（138名）（前年比4.2ポイント減）

（男性：32.8%（前年比10.9ポイント減）
女性：8.9%（前年比2.7ポイント減））

（たばこ対策事業参加17校の卒業生：2.7%
その他の県内学校及び県外出身者：8.8%）

ウ 喫煙開始時期：看護学生20.8%（前年比1.1ポイント減）

小学生から高校まで45.6%（前年比1ポイント減）

その他（社会人経験時等）29.3%（前年比0.1ポイント減）

エ 喫煙のきっかけ：興味本位57.2%、友人が吸っていた38.4%

オ 喫煙者の現年齢：20～22歳39.1%

23～45歳56.5%

②健康教育

方 法：フレッシュセミナー時にたばこに関する教育指導の時間を設ける

内 容：ア たばこの健康被害に関する冊子の配布と説明

イ 喫煙者への相談・指導

(3)まとめ

看護職の喫煙率が、県民女性の約2倍の喫煙率であることから、喫煙開始時期として多い看護学生を対象に事業を実施してきた。フレッシュセミナーにおいて、たばこに関するアンケート調査を実施した結果、新卒看護師の喫煙率が平成21年度の喫煙率20.8%から11.5%に半減するなど成果が得られている。

しかし、未だに県内女性より高い喫煙率であることから、次年度以降も事業を継続していきたい。

災害支援対策事業

1. 平常時における日本看護協会及び都道府県看護協会連携

(1)日本看護協会合同派遣訓練（災害支援ナース派遣調整）

日 程：8月28日（水）～8月30日（金）

参加施設：災害支援ナース所属施設59施設

派遣候補者92名、派遣決定者28名、協会内に災害対策本部設置

2. 平常時における千葉県・市町村との連携

(1)柏市との「災害時における医療救護活動に関する協定書」及び「災害時における医療救護活動に係る費用弁償等に関する覚書」締結（7月1日付）

(2)九都県市合同防災訓練・千葉県会場訓練

日 程：9月14日（土）

会 場：千葉科学大学

参加者：利根地区部会看護職15名（うち、災害支援ナース9名）

(3)九都県市合同防災訓練・千葉市会場訓練

日 程：9月1日（日）

会 場：千葉市蘇我スポーツ公園一帯

参加者：千葉地区部会看護職2名

(4)船橋市総合防災訓練

日 程：8月25日（日）

会 場：船橋市内54小学校他

参加者：船橋地区部会看護職46名

3. 災害に備えた支援体制の整備

(1)災害支援ナースの登録促進

7月12日(金)災害医療と看護基礎編研修時に災害支援ナース登録の推奨（3会場：看護会館、旭、亀田）

3月11日(火)災害医療と看護実践編研修時に災害支援ナース登録の推奨

(2)災害支援ナース登録・管理

災害支援ナース登録者数 196名（3月末現在）

災害支援ナース登録システム改修

平成25年3月の「災害支援ナース体制整備」に沿ったシステム改修を、3月に実施

(3)災害支援ナース派遣マニュアルの再検討及び普及

①「災害救護対応マニュアル作成検討会」の開催

4回（11月1日、12月3日、12月17日、1月14日）

委員7名（会長は災害救護対策担当の大木理事）

②「災害救護対応マニュアル」-平成16年以降、改訂されていなかったものを、内容を抜本的に見直しして、会員施設用に改訂

【主な内容】災害時の体制（県内被災・県外被災、災害発生からの作業の流れ）

「災害支援ナース必携マニュアル」（ポケット版）-災害支援ナース登録者用に新規に作成

【主な内容】災害支援活動について（心構え、出動にあたって、支援活動の実際、活動終了後の事務処理）、各種資料

③マニュアルの普及啓発

・研修会での普及啓発-「災害支援ナースフォローアップ研修」「災害医療と看護（実践編）」にて内容説明

・マニュアルの配布

「災害救護対応マニュアル」700部印刷：会員施設、日本看護協会・都道府県看護協会、関係機関に配布

「災害支援ナース必携マニュアル」1200部印刷：会員施設、日本看護協会・都道府県看護協会、関係機関、災害支援ナース登録者に配布

(4)災害時必要物品の管理

不足品の補充（防災頭巾、アルファ米、サランラップ、マジック、名札ケース等）

4. 災害支援ナースの育成

(1)災害支援ナースフォローアップ研修

日 程：2月27日（木）

会 場：看護会館大研修室

内 容：講義「千葉県看護協会の災害支援体制について」

「災害支援ナースのメンタルヘルスについて」

「災害支援ナース活動の実際～東日本大震災での支援活動から～」

演習「災害支援ナースとしての活動実践」（机上シミュレーション）

参加者：105名、講師等7名、その他4名（合計116名、内登録者111名）

(2)「都道府県看護協会における災害支援ナース指導者養成研修」受講者推薦

10月10日(木)～11日(金) 3名推薦(2名修了、1名は1日欠席)

大木信子災害救護担当理事が担当理事として聴講

5. まとめ

・九都県市合同防災訓練については、希望した災害支援ナース登録者全員が参加し、更新要件の1つを、対象者に達成してもらうことができた。来年度も、引き続き、災害支援ナース登録者の訓練への参加を勧めていきたい。

・災害支援ナース登録システムについては、今回の改修で、施設からの登録の際に申請書と入力項画面が合致しわかりやすくなったが、管理部門についてはまだ手作業での部分があるため、更なる災害発生時の円滑な対応をめざし、来年度も追加改修をしたい。

・「災害救護対応マニュアル」について、東日本大震災の教訓を踏まえ、行政、災害派遣経験者、施設の代表者、学識経験者等からなる検討会を立ち上げ、多方面からの意見をいただきながら実践的なマニュアルとしてまとめることができた。また、あらたに、災害に派遣されるナースが持参し活用することを目的としたポケット版の「災害支援ナース必携マニュアル」を作成し、災害支援ナースの一人ひとりに配布し、登録者から「心強い」との好評を得ることができた。更に、災害看護研修で、改訂した本マニュアルの内容を詳細に説明することで、内容の普及啓発を図ることができた。

今後は、改定すべき事項等を随時記録し、円滑に改訂できるようにすること、また、新規登録施設や災害支援ナース登録者にもマニュアルを送付し、きれめのない準備体制を整えていきたい。

・第1回目となる災害支援ナースフォローアップ研修を開催し、対象者の57%という多くの参加を得ることができた。来年度からは、フォローアップ研修では机上シミュレーション、災害医療と看護（実践編）ではロールプレイを実施することで、研修毎に演習内容の棲み分けをすることとし、災害看護研修として段階的な研修となるようにしたい。

千葉県小児救急電話相談事業

1. 目的

夜間に起こる小児の急な病気に対する保護者からの電話相談に応じ、保護者の不安を解消し、適切な受診判断を助け、救急医療の適正な利用を促進する。さらに経験豊かな看護相談員を確保し、相談員の資質の向上と円滑な相談対応ができる体制づくりをする。

2. 実施内容

(1)相談員の登録・派遣

①相談体制

相談日：365日 19：00～22：00

相談体制：平日 看護師3名、土日祝日 看護師4名、後方支援医師1名

登録相談員：23名輪番制

②相談件数：18,724件（1日平均 51.3件 24年度実績53.6件）

(2)相談員の勤務調整

2ヶ月毎に勤務表作成

(3)相談員研修会の開催

①登録相談員の研修会

第1回

日 時：9月29日（日）13：00～16：30

場 所：千葉県看護会館 中研修室

ねらい：相談員が受ける相談件数の中で、特に多い事例を振り返り、良い点を含め、共有し、皆が同じレベルの対応で実践できることを目指す。

内 容：事例検討 「発熱、下痢・嘔吐、咳痰」に関連した事例

講 演 「小児の発熱とその対応～気道感染・消化管感染を中心に」

講 師 ころさきこどもクリニック院長 黒崎 知道

参加者 26名（相談員19名、小児科医師4名、事務局3名）

第2回

日 時：2月23日（日）13：00～16：00

場 所：千葉県看護会館 中研修室

ねらい：夜間に起こる小児の急な病気に対する保護者からの電話相談に対し、不安解消するとともに、適切な受診判断を助け、救急医療の適正な利用を促進する。

内 容：外部研修会参加報告

・小児救急電話相談スキルアップ研修会 相談員 明山 智恵美

・小児救急電話相談対応者研修 相談員 齊藤 佳寿早

講 演 「小児救急において優れたアセスメント能力を發揮する」

～外傷・頭部打撲の症状と受診の目安～

講 師 東京女子医科大学八千代医療センター 小児看護専門看護師 村松 三智

グループワーク ～自己の事例とてらし合わせて～

参加者 27名（相談員22名、講師1名、事務局4名）

臨時 事例検討会

日 時：6月12日（水）19：30～20：30、15日（土）17：00～18：00

場 所：千葉県医師会 会議室

内 容：問題事例について

概要の報告、事例対応についての説明及び意見交換

参加者：県医療整備課2名、千葉県医師会6名（内：小児科医会3名、事務員1名）

千葉県看護協会4名、相談員18名（欠席者5名）

②外部研修会

小児救急電話相談スキルアップ研修（日本小児保健協会）

【基礎コース】

日 時：9月26日（木）13：00～17：00

場 所：国立オリンピック記念青少年センター

内 容：小児救急の電話相談の社会的な意義や相談スキル、受療行動へのアドバイスとともに相談者に安心
を与える電話対応のあり方などの理解を目的とした講義、演習、グループワーク

受講者：2名（相談員歴4年）

【実践コース】

日 時：1日目 11月23日（祝）13：00～18：00

：2日目 11月24日（日）9：00～16：00

場 所：国立オリンピック記念青少年センター

内 容：自らの電話対応の傾向を理解し、相談者をエンパワーメントする相談技法の向上などを指すため
のSP（模擬相談者）を用いた電話相談実技、グループワークによる討論、講義

受講者：1名（相談員歴4年）

小児救急電話相談対応者研修（厚生労働省医政局）

日 時：11月9日（土）10：00～17：00

場 所：東京八重洲ホール

内 容：小児救急電話相談事業（#8000）について、電話相談業務において信頼感と安心感を得るために必
要な聞き方、話し方、現代子育て事情、
事例研究1（対応音声事例を聞く・ワークショップ）、
事例研究2（ロールプレイング）、相談対応者によるシンポジウム

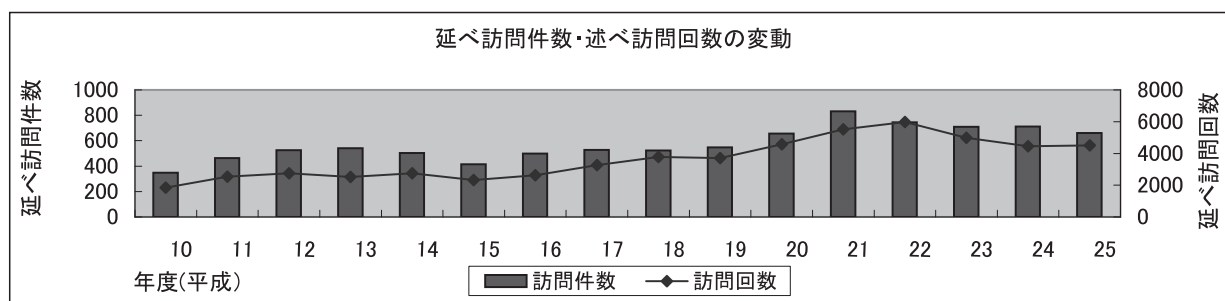
受講者：2名（相談員歴4年）

(4)千葉県小児救急電話相談運営協議会への出席 年2回（9/6、3/27）

Ⅴ 介護保険法に基づく指定居宅サービス、居宅介護支援に関する事業 並びに健康保険法に基づく訪問看護に関する事業

1. 訪問看護及び居宅介護支援事業の延べ実績（サテライト柏は除く）

保険区分	事業年度	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	サテラ イト柏
介護保険 での訪問 看護	件数			428	447	409	315	349	367	332	347	421	553	464	479	467	418	77
	訪問回数			2,104	1,946	2,025	1,498	1,568	1,716	1,566	1,640	2,072	2,844	2,956	2,557	2,354	2,293	323
医療保険 での訪問 看護	件数			97	95	94	99	149	161	192	201	235	278	280	231	245	242	75
	訪問回数			645	578	718	827	1,058	1,550	2,205	2,064	2,501	2,662	3,028	2,421	2,096	2,220	379
合計	訪問件数	349	464	525	542	503	414	498	528	524	548	656	831	744	710	712	660	152
	訪問回数	1840	2530	2,749	2,524	2,743	2,325	2,626	3,266	3,771	3,704	4,573	5,508	5,984	4,978	4,450	4,513	702
	常勤換算									4.1	4.4	5.6	6.0	6.8	5.7	7.2	6.3	2.0
居宅支援事業	プラン件数			467	430	414	371	610	600	450	437	572	732	736	667	672	697	

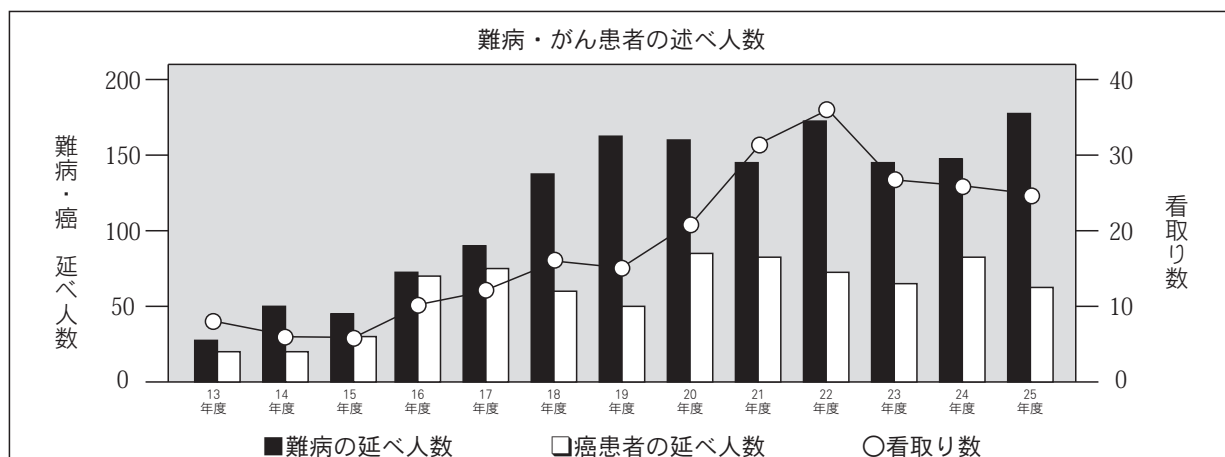


- * 平成25年度の常勤換算人数が平均6.3人。退職者2名、新入所者1名。月平均訪問看護数は376件、1人1日平均2.9件を訪問している。2年目の新卒者1名は順調に育っており、単独訪問を平均1日3回行っている。
- * 保険別で見ると、医療保険より介護保険の方が利用者・訪問回数が多い。
- * H25年の4月よりサテライト下肢をを開設。常勤換算人数2名。少しずつ増えてきている。
- * 居宅支援ではケアマネージャの常勤換算が1.6人で、月平均58件であった。

難病・癌患者の延べ人数と看取り数

年 度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
難病の延べ人数	24	50	44	71	90	138	164	161	146	171	145	149	179
癌患者の述べ人数	20	20	32	70	75	59	51	86	84	76	65	83	63
看取り数	8	6	5	10	11	14	13	23	32	36	26	25	24
(うち在宅での看取り)					2	4	10	12	16	21	11	16	13

- * 難病の延べ人数は平成18年度から増加している。
- 癌患者述べ人数と看取りの述べ人数は平成21年度から増加している。
- * 看取りの内、約半分以上の方が在宅で看取られている。



緊急・臨時訪問の時間帯延べ件数

年 度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
日中 8 時 ~ 18 時					16	23	28	49	126	156	89	95	113
早朝 6 時 ~ 8 時			1				1	4	11	5	20	3	5
夜間 18 時 ~ 22 時	6	1	5	2	5	10	8	18	36	35	40	41	38
深夜 22 時 ~ 6 時							3	9	25	34	38	26	14
計	6	1	6	2	21	33	40	80	198	230	187	165	170

*年々、緊急・臨時訪問数が増加している。

*夜間帯の（18～8時）の勤務外の訪問件数が多い。

年 度	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
休日の訪問件数	9	1	4	8	7	15	34	77	172	174	118	99	134

*平成20年度から、予定訪問・緊急訪問を含め休日の訪問回数が増加している。

学生実習・研修の状況

実習生・研修生 述べ数（人）	H13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
	90	82	81	106	125	129	139	126	156	164	203	185	207

*平成25年は、11の学校から実習学生、5施設から研修生を受け入れている。

居宅支援事業

平成 年度	利用者数 実績数	年 齢		性 別		地 区					介 護 度					
		1号	2号	男	女	美浜区	中央区	稲毛区	花見川区	四街道市	支援	介護1	介護2	介護3	介護4	介護5
12年度	469	412	57	139	332	263	84	122	0	0	1	52	68	105	107	136
13年度	430	394	36	121	309	230	80	120	0	0	1	36	78	59	94	162
14年度	418	380	38	167	251	223	70	125	0	0	16	51	56	78	90	127
15年度	371	321	50	202	169	225	52	89	5	0	16	95	38	42	45	135
16年度	610	534	76	302	308	437	68	76	29	0	25	247	81	77	58	121
17年度	600	526	74	279	321	443	69	64	24	0	56	209	88	40	71	136
18年度	451	404	47	249	202	329	37	73	12	0	22	99	37	64	58	171
19年度	439	349	90	222	217	336	37	54	12	0		75	42	81	73	168
20年度	572	438	134	306	266	401	70	84	17	0		88	80	120	108	176
21年度	748	576	172	403	345	448	129	122	49	0		165	124	108	164	187
22年度	726	576	150	390	336	454	82	140	50	0		84	155	97	131	259
23年度	658	552	106	264	394	402	75	89	82	10		50	139	117	104	248
24年度	652	535	117	214	438	376	78	138	48	12		97	120	68	88	279
25年度	679	564	115	208	471	410	88	134	33	14		88	125	68	103	299

*常勤換算1.7名、1名の標準担当件数35名。

*2号被保険者が20.5%（昨年比+2.5%）、特定疾患や癌末期の利用者が多い。

*地区別では、当事業所が美浜区に所在しているために、美浜区に集中している。人伝の紹介で近隣の市からの依頼もある。

*介護度別で要介護2と要介護5の利用者が多いのは、特定疾患・がん末期の、医療依存度の高い利用者が多い為と考えられる。

VI その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

地区部会活動事業

(1) 千葉地区部会

地区部会長：石井 崇子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：心と体のリフレッシュ 講師：眞山 アミ 氏	日 時：7/29（月）13：30～16：30 場 所：千葉市ビジネス支援センター13階 会議室1・2 参加者：32名
	第2回研修会 テーマ：マネジメント力をアップさせるためのアサーショントレーニング 講師：奥 朋子 氏	日 時：9/24（火）13：30～16：30 場 所：千葉市ビジネス支援センター13階 会議室2・3 参加者：71名
	第3回研修会 テーマ：感染予防 ～そのマスクと手袋の付け方は合っていますか？～ 講師：窪田 眞弓 氏	日 時：1/31（金）13：30～16：30 場 所：千葉市ビジネス支援センター13階 会議室2・3 参加者：38名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12（日）10：00～15：00 場 所：プレナ幕張 参加者：340名 各種測定、健康相談 栄養相談 骨密度測定等
	進路相談等	①「看護の日」「まちの保健室」において ナースセンターや日本看護協会のパンフレットを配布 ②高校生を対象とした出前授業 日 時：6/27（木）14：20～15：00 場 所：千葉北高等学校 1学年 参加者：計327名 (海浜病院 助産師宮真由美氏・阿部祥子氏2名)
	まちの保健室（常設型） 毎月第3（土） 時間 14：00～16：00	実施日：6/15、7/20、8/17、9/21、11/16、1/18、3/15 場 所：アリオモール蘇我 参加者：167名
	新世紀ちば健康プラン 市民健康づくり大会	実施日：10/19（土）10：00～16：00 場 所：きぼーる 1階アトリウム 参加者：414名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計5回）	日 時：4/19、6/21、9/20、12/20、2/21、 場 所：千葉市ビジネス支援センター 千葉地区における地区部会の活動計画の立案、実施、評価
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：6/21（金）15：00～16：30 場 所：千葉市ビジネス支援センター15階 多目的室 参加数：24施設 25名
	第2回連絡会	日 時：2/21（金）15：00～17：00 場 所：千葉市ビジネス支援センター15階 多目的室 参加数：24施設 24名
5 その他、地区部会活動	第34回9都県市合同防災訓練	日 時：9/1（日）9：00～12：00 場 所：蘇我フクダ電子アリーナ 参加数：約2,589人（地区部会 2名）
総 括		
<ul style="list-style-type: none"> ・看護師確保及び定着、新人の育成等は千葉地区部会全体の課題であり連絡会で意見交換を行った。各施設間での差はあるが、看護師不足は歪めない現実であり、地区部会として合同就職説明会の開催希望について今後検討予定。 ・地区部会開催の研修会への参加は回を重ねるごとに参加者が増え、お断りする研修もあった。協会に入会していない看護職も1～2割程度は参加している。今後も会員のニーズに合った研修を企画するとともに協会への入会を呼びかけていく。 ・「まちの保健室」活動は毎月蘇我のアリオで開催しているが、利用者数が伸びない分ゆっくと説明が可能。活動のする場所が賑やかな場所でもあり、内容によっては場所の変更も望みたい。協力員からはアリオ蘇我ではなく、幕張のイオンモールも視野に入れてはどうかとの意見あり。また鎌取のイオンからイベント型でまちの保健室を開催してほしい希望があった。 		
今後の取り組み		
<ol style="list-style-type: none"> 1 会員のニーズにあった研修企画 2 集客数増と住民ニーズに即した「まちの保健室」活動及び場所の再検討 3 千葉地区部会内での合同就職説明会開催の有無 		

(2) 市原地区部会

地区部会長：小賀坂 好子

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 テーマ：排泄ケアからみた褥瘡予防について 講師：高木 弘枝 氏	日 時：6/28（金）18:00～20:00 場 所：サンプラザ市原 1F文化創造ホール 参加者：75名
	第2回研修会 テーマ：呼吸リハビリテーションの実際 講師：石田 正義 氏	日 時：9/20（金）18:00～20:00 場 所：介護老人保健施設 アーネスト 参加者：63名
	第3回研修会 テーマ：感染について 講師：大塚 モエミ 氏	日 時：12/9（月）18:00～20:30 場 所：サンプラザ市原 1F文化創造ホール 参加者：81名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12（日）13:00～16:00 場 所：ユニモちはら台 参加者：748名
	進路相談等	日 時：5/12（日）13:00～16:00 場 所：ユニモちはら台 参加者：3名
	まちの保健室（常設型） 毎月 第2もしくは第3（土） 時間 13:00～16:00	実施日：6/15、7/20、9/14、11/16、12/14 場 所：ユニモちはら台 参加者：443名
	まちの保健室（イベント型） イベント名：健康まつり 時間 10:00～15:00	実施日：10/20（日） 場 所：市原市保健センター 参加者：399名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会（計7回）	日 時：4/10、6/12、7/3、9/4、10/2、12/4、2/5 場 所：市原看護専門学校
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：4/10（水）15:00～16:30 場 所：市原看護専門学校 参加数：6施設 6名
	第2回連絡会	日 時：9/4（水）15:00～16:30 場 所：市原看護専門学校 参加数：6施設 6名
5 その他、地区部会活動	市原市の協力事業 ・地域医療教室 ・災害医療専門委員会 ・歯と口腔の健康推進協議会 ・健康づくり推進委員会 ・防災訓練・中央会場 ・高滝湖マラソン ・全国中学校選抜剣道大会	各種協議会に出席 協力員派遣
総 括		
<ul style="list-style-type: none"> ・研修会は現場の看護活動を支援できる内容となることを目的として行った。講義の内容を事前に把握して計画したことで参加者の要望に沿った内容になり、また研修会の開始時間を30分繰り下げて開催したことから、最初から参加することができたと好評であった。 ・看護の日の行事では看護協会活動や健康行動活動を広くアピールすることができた。白衣を着用した写真撮影や、高齢者体験、妊婦体験など多くの方に寄って頂いた。常設型・イベント型まちの保健室は複数回来場された方もあり、市民への知名度も上がったと言える。 ・市原市には多くの事業に協力をしている。今年度初めて担当した地域医療教室は健康問題について市民と直接対話する機会となり、市民の求めていることを把握でき、また市民には看護協会の活動を知っていただくことに繋がった。 		
今後の取り組み		
<ul style="list-style-type: none"> ・会員の連絡会参加が少ない現状である。出席を促し、意見交換や情報交換を活発にしていきたいと考える。また、研修会も同じ施設からの参加であり、多くの施設や個人会員の参加を増やす方策を取っていきたいと考える。 ・まちの保健室で実施している、肺チェッカーの測定精度を高めるための方策を取っていきたいと考える。 		

(3) 船橋地区部会

地区部会長：山崎 住江

事業項目	実施項目	実施内容
1 研修会の開催	第1回研修会 看護実践研修会 テーマ：エンゼルケアで穏やかな看取りを 講師：清野 幸子 氏	日 時：7/17 (水) 14：00～16：30 場 所：社会保険船橋保健看護専門学校 参加者：68名
	第2回研修会 地域連携研修会 テーマ：感染予防対策における看護師の役割 講師：池崎 陽子 氏	日 時：10/16 (水) 14：00～16：30 場 所：社会保険船橋保健看護専門学校 参加者：49名
	第3回研修会 管理者研修会 テーマ：労務管理問題の解決方法を学ぼう 講師：鈴木 雄介 氏	日 時：2/26 (水) 14：30～16：30 場 所：東京女子医科大学附属八千代医療センター 参加者：52名
2 地域のニーズに応える事業	看護の日	日 時：5/12 (日) 10：00～16：00 場 所：東武鉄道 船橋駅コンコース 参加者：870名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：がん予防展 時間 10：00～15：00	実施日：9/14 (土) 場 所：イオンモール 八千代緑ヶ丘 参加者：162名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：がん予防展 時間 10：00～15：00	実施日：9/15 (日) 場 所：イオンモール 八千代緑ヶ丘 参加者：257名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：鎌ヶ谷健康福祉フェア 時間 10：00～15：00	実施日：10/20 (日) 場 所：鎌ヶ谷市総合福祉健康センター 参加者：594名
	まちの保健室 (イベント型) イベント名：船橋健康まつり 時間 10：00～15：00	実施日：11/10 (日) 場 所：船橋市運動公園 参加者：50名
3 組織の強化と 会員増の促進	役員会 (計9回)	日 時：4/25、6/13、7/4、7/17、9/12、 10/16、11/12、1/23、2/26 場 所：船橋市男女共同参画センター 社会保険船橋保健看護専門学校 東京女子医科大学附属八千代医療センター
	協会PR	・非会員の研修参加を促す ・研修会時に会員加入を促す
4 地区内会員に対する 連絡調整	第1回連絡会	日 時：7/4 (木) 14：30～16：30 場 所：船橋市男女共同参画センター 参加数：23施設 23名
	第2回連絡会	日 時：2/26 (水) 13：00～14：30 場 所：東京女子医科大学附属八千代医療センター 参加数：19施設 19名
5 その他、地区部会活動	1. 地域の防災訓練に参加	・船橋市総合防災訓練 8/25 (日) 市内54小学校・特別支援学校1校で実施 役員4名 協力員46名
	2. 地域のイベントに参加	・船橋市救急シンポジウム 9/7 (土) 役員1名
	3. 市町村及び関係団体との活動	・習志野健康福祉センター運営協議会 ・船橋市保健・医療・福祉問題懇談会 ・船橋市災害医療活動研究会 ・船橋市国民保護協議会 ・ふなばし健やかプラン2 1 市民運動推進会 ・東葛南部地域保健医療協議会 ・船橋市在宅医療ネットワーク委員会 ・船橋市救急シンポジウム委員会
総 括		
<ul style="list-style-type: none"> ・今年度は、役員会・連絡会・研修会など予定通りに行えたが、常設型のまちの保健室の施設が見つからず。 ・イベント型のまちの保健室に切り替え、新たに参加したイベントもあった。 ・認定看護師がイベントに参加することで、協力員も安心して相談に乗れるというメリットがあるので、今後も活動範囲を拡大していきたい。 ・地区では協会員は増加しているが、研修会時に確認すると非会員がいるので引き続き入会促進のPRをする。 		
今後の取り組み(残された課題)		
<ul style="list-style-type: none"> ・まちの保健室 (常設型) の施設を探す。 ・協力員を広く募集する。 		